

コミュニケーション関係学教育における学士力の考察

【到達目標】

1. 個人や集団、組織、社会、文化におけるコミュニケーションの役割・仕組みを理解できる。

【コア・カリキュラムのイメージ】

コミュニケーション概論など

【到達度】

- ① 対人関係をコミュニケーション論的視点から理解している。
- ② 集団や組織における活動をコミュニケーション論的視点から理解している。
- ③ 社会、文化事象をコミュニケーション論的視点から理解している。

【測定方法】

①から③は、コミュニケーションのメカニズムを筆記試験、レポートなどにより、確認する。

【到達目標】

2. 多様な場面において期待されるコミュニケーションのスキルを身に付けている。

【コア・カリキュラムのイメージ】

ロールプレイング、プレゼンテーション、スピーチ／ディベート、グループディスカッションなど

【到達度】

- ① 場や社会的・文化的「文脈」に応じた適切なコミュニケーションスキルを獲得し、実践できる。
- ② 互いの違いを認識し、相互理解を深めるためのコミュニケーションスキルを実践できる。

【測定方法】

①、②は、学生が互いのコミュニケーションを客観的、理論的、批判的に観察し、その結果を発表や討論により、確認する。

【到達目標】

3. コミュニケーションの諸問題を分析した結果を理論的に考察し、様々な状況で応用できる。

【コア・カリキュラムのイメージ】

メディア論関連、マスコミュニケーション論関連、言語・非言語コミュニケーション関連、対人コミュニケーション関連、集団・組織コミュニケーション関連、異文化間コミュニケーション関連、コミュニケーション・メディアの調査方法など

【到達度】

以下の内容のいずれかについて問題設定し、コミュニケーションやメディア研究の方法論を用いて調査・分析を行い、その結果を考察して様々な状況で応用することができる。

- ※ コミュニケーションにおけるメディアの機能・特徴、メディアリテラシー
- ※ 言語と非言語コミュニケーションの機能
- ※ 対人、集団、組織、異文化間などにおけるコミュニケーションの特性

【測定方法】

筆記試験、レポートに加え、演習、事例研究、フィールドリサーチ、メディア制作実習により、確認する。